



### 新春のご挨拶

社団法人 日本空手協会 会長  
中原伸之

JKA会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年中は一方ならぬお世話になり有難く御礼申し上げます。今年も相変わらず宜しくご支援、ご協力の程をお願い申し上げます。

JKAの昨年の歩みは順調で充実したものでした。全国大会、全国小、中学生大会ともに盛況で成功裏に終わりました。特に小、中学生大会は参加者数が六千人、来場者総数2万2千人を超えるかという過去最高の人数が集まり、非常に熱気ある大会となりました。特筆すべきことは、全国大会、小中大会がNHKの12時のニュースで全国放送され、空手協会ここにありと満天下に示したということ、大変喜ばしいこととあります。

また、春季、秋季合宿を開催致しました。合宿には春には米国の岡崎照幸師範、秋には独国の越智秀男師範を招待師範としてお招きし、技術の研鑽に勤めました。そして大変有意義であったのは、春季合宿において尾張柳生の柳生延春先生をお招きし、ご講話をいただきましたこととあります。

三つ目といたしまして、全国熱錬者大会を協会が主催いたしました。去年は2年目でした。11月3日で少し寒い季節でしたが、参加者の皆様方は熱心に参加いただきました。大変印象残る大会であったと思っております。

それから去年、私が会長として一番うれしかったのは本部指導員の給料をやっと上げることができたことです。御承知の通り、いわゆる十年戦争をやりました。一部の反乱分子と戦ったわけですが、十年間いろいろ頑張っていたので、そのおかげで逆に言うところ蓄積ができました。それでこの道場を買い、その次の年に指導員の給料を上げることができたということです。これはひとえに会員皆様のご協力、ご助力の賜物として、この機会を借りまして厚く感謝申し上げます。空手のフルタイムの専門家として、決して十分とは言えませんが、一応社会的にみて、それなりの給料が払える様になったと言うことです。世界でもあまりの例のないことではないかと思っております。同時に反面、指導員の諸君はいつそう研鑽に励んで空手協会の実力、存在価値の高めていただきたいと思います。

さて今年ですが一番大きなイベントは9月に日本武道

館に於いて世界大会が開催されます。男・女組手・形、個人・団体と合計8種目ございますが、前回同様完全制覇することが今年の目標として選手諸君はそれに向かって邁進しなければなりません。2月には選考会をおこな

いまして、9月に至るまで何回か合宿をやって万全の準備をしたいと思っております。その間に全国大会もあるわけですので今年はおこなふ行事の多い年ですが、いろいろ気をつけて事故をおこさないように注意しながら、実力を発揮する機会を逃さないように、十分に存在価値を示すことが必要だと思っております。

また、あたらしい試みとして小学生、中学生の合宿を春先に予定しております。これも空手の将来のためには必要なことです。将来は高校生もやりたいと思っております。私どもの協会は、小学1年生からいきなり組手をやらせるといふことはせず、最初は十分に体力を作り基礎を作り、約束組手を通して組手へと移行していくわけです。この面においても空手協会のオーソドックスな伝統的な訓練方法を貫きたいと思っております。

今年は大河ドラマで宮本武蔵も出てきます。武道の達人、名人はいろいろおられますが、空手を習う人もそれなりに自分で工夫し、古人が残してくれたいろいろな秘儀、奥義を自分で探ることが大切だと思っております。年末年始の休みのうちに武道の本をいろいろ読んでみました。空手もやはり稽古をする一方で、いろいろ自分で工夫をする、あるいは思索を重ねることが大切だと思っております。そういった意味において名人上手の書いた、あるいは言った言葉や十分研究する必要があります。ここで紹介したいのは吉丸慶雪さんという方の書いた「合気道の奥義」という大東流合気道の佐川先生という達人の口伝をのせた本であります。以前、作家の津本陽先生と、当時ジャイアンツの監督をやっていた王貞治さんと私の3人で佐川先生の稽古を見に行きました。その動きは本当に神業みたく大変な人でした。その佐川先生がここにいろいろと秘伝を述べられておられます。非常にためになりそうです。購読していただくと、十分に研究したかったと思

います。それからもう一冊「古流柔術戦闘理」という古流の柔道の本を買いました。日本の柔術には非常に古い歴史がありまして、悠久の昔から日本に存在しているわけですが、そこにはやはり突きと蹴りがある。非常に強烈な突きと蹴りがあったようである。逸話、秘伝などが残っています。日本書紀には拳法空手系の格闘術の存在が明記されています。そこで日本古来の拳法、蹴

法も十分に研究することが必要ではないかと考える次第です。

最後に、いつも申し上げますが日本空手協会は社団法人です。会員みんなで集まり、共通の目的を達成するためにできた組織です。特色が二つありまして一つは非常にオープンな組織であるということ、簡単に言えば来るものは拒まず、去るものは追わずという組織です。同時に重要なのは会員が平等であるということです。この二つが中心ですが、空手協会にはもう一つ実力主義というのがあります。空手の世界における実力を尊重するというところでもあります。更にもう一つ現代には非常に閉鎖的な、あるいは閉塞感のある社会だとわかれておりますが、空手協会はまったく異なる職業の人たちが真の空手というひとつの共通の目標に向かって開けた場を提供する、平等な立場で交流する大変すばらしい場を提供するという使命を持ってあります。そういう面におきましては協会を十分に活用していただければありがたいと思っております。

JKAニュースと言う私どもの機関紙がありますが、それを読んでおりましたら非常に感動的な投書がありました。それは体の不自由な方からの投書で、こういうことが書いてありまして、自分は一生懸命苦勞してやると初段を取った。これは決してお涙頂戴の初段じゃない。実力で取った段位だ。それを自分は非常に誇りに思う。同時に空手協会は私のような人間も差別しなかった。平等に扱ってくれたと書いてありました。上に述べたような空手協会の在り方を本当によくわかっていただいた方からの投書で読んで感動いたしました。そういう面を空手協会は十分に考えていく必要があると思っております。

いずれにしても空手着を着て一本勝負のルールであれば協会は世界中どこへ行っても負けないという実力を作ることが私共の一つの最終目標です。相手が誰であろうが、今申したように空手着を着て一本勝負をやれば負けるはずはない、そういうつもりでどうぞ指導員諸君以下、頑張ってください。頑張り今年もやろうではありませんか。長くなりましたが、新年における皆様方のご健勝、ご多幸を祈念しまして、私の新年のご挨拶といたします。

### 中原会長 推薦書籍

●吉丸 慶雪 著  
「合気道の奥義」

ベースホルムマガジン社 定価2,500円

●平上 信行 著

「古流柔術戦闘理」

愛蔵堂 定価1,800円

一般史料は不昧堂書店発行、今村嘉雄編、  
体育史資料年表と岩波書店発行、歴史学研究会編、日本史年表に拠った。

1904	1902	1900	1898	1896	1895	1894	1889	西暦	和暦
明治37	明治35	明治33	明治31	明治29	明治28	明治27	明治22		
2/10	1/30	2/16	6/22	7月	4/23 4/17	8/1		月/日	
対露宣戦布告。	日英攻守同盟条約に調印。	撃剣を学校の正課に加える請願書が第十四議会で提出される。	文部省、撃剣・柔術を課外運動としてのみ許可する。	衛生顧問会議は武道を十五歳以上の強壯者の課外運動として認める。	独露仏3国、遼東半島の清国へ返還を勧告。三国干渉起る。	日清講和条約調印。	清国に宣戦布告。日清戦争起る。	一般史料	
78歳	76歳	74歳	72歳	70歳	69歳	68歳	63歳	安里安恒	
75歳	73歳	71歳	69歳	67歳	66歳	65歳	60歳	糸洲安恒	
35歳	33歳	31歳	29歳	27歳	26歳	25歳	20歳 この頃より糸洲安恒にも師事する。	富名腰義珍	

# 専用空手衣新登場!

常に妥協することなく新しい伝統を築きあげてきた『守礼堂』が、激しい運動にも柔軟に対応する新素材から生み出した、形、組手専用空手衣。軽く、しかも激しい動きに対応する芯の強い形専用空手衣「ニューウェーブ」あらゆる動きに対応する強度、伸縮性、軽さを備えた組手専用空手衣「フリーアクション」常に最高のパフォーマンスを引き出す空手衣です。

## 守礼堂 本社

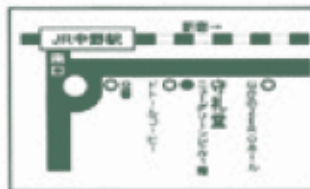
〒900-0012 沖縄県那覇市泊1丁目1番6号 TEL (098) 861-5621・FAX (098) 861-5525  
FreeDial 0120-612341・FreeFax 0120-612342

## 関西 守礼堂

〒536-0008 大阪市城東区関目2丁目12番36号 TEL (06) 6931-8864・FAX (06) 6931-8863

## 九州 守礼堂

〒890-0023 鹿児島市永吉町3丁目10番15号 TEL (099) 255-8471・FAX (099) 255-1547



## 守礼堂 東京支社

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目23番1号  
ニューグリーンビル1階103号  
TEL (03) 5342-3051・FAX (03) 5342-3052  
URL www.karatedo.co.jp/shureido  
e-mail shureido@orange.ocn.ne.jp  
●営業時間 9:00~18:00 ●定休日 日曜・祭日

1915	1914	1913	1912	1911	1910	1908	1907	1906	1905	西暦				
大正4	大正3	大正2	明治45	明治44	明治43	明治41	明治40	明治39	明治38	和暦				
	7/28		6/21	10/10	7/31	5月	10/13	3月	3/9	9/5	5/27 28	2月	1/1	月/日
	第一次世界大戦起る。		師範学校男生徒に、撃剣・柔術を加えることが認められる。	柔術・剣術が随意科目として認められる。 四十五年度より実施。 清国武昌の新軍蜂起。辛亥革命起る。		文部省、全国師範学校長会議に撃剣柔術を必修とするの可否について諮問する。	第二十四議会に武道正課案が提出される。 戊申詔書下付される。		第二十二議会に、武道正課採用案が提出される。	第二十二議会に、武道の学校必修案が提出される。 日本海海戦。 日露講和条約調印。	旅順陥落。			一般史料
							81歳 歿す。	80歳	79歳			79歳		安里安恒
86歳 歿す。	85歳	84歳	83歳	82歳	81歳	79歳 十訓を記す	78歳	77歳	76歳			76歳		糸洲安恒
46歳	45歳	44歳 沖繩尚武会 会長に推される。	43歳	42歳	41歳	39歳	38歳	37歳	36歳			36歳		富名腰義珍

(以下次号)

日本空手協会総本部指定

尚武オリジナル

「尚武」

袴式空手衣



山梨県山梨市上神内川402-1

有限会社 尚 武

〒405-0018

電話 (0553) 23-5320

FAX(0553) 23-5340



▲三多摩代表の折目による選手宣誓



社団法人日本空手協会  
第二回 熱練者全国空手道選手権大会

今年も峻麗富士の麓、御殿場市に再び全国の指導者が集結、第2回熱練者全国空手道選手権大会が開催された。当日は朝の気温5度まで冷え込んだが、会場は選手の熱い戦い、そして応援する生徒、父兄の熱気で多いに盛り上がった。

午前中一番の好カード、個人戦男子50歳組手の部では1回戦で前回の決勝戦と同じ組み合わせ、佐々木正喜（東京）と塚田友義（茨城）が対決した。軽快なフットワークから間合いを詰め一気に仕掛けようとする塚田、じっくり構えて出合いをねらう佐々木、緊迫した試合展開となった。先制したのは佐々木だ。塚田の鋭い逆突きを一瞬の間隙を衝いて上段刻み突きで技ありを先取、しかし塚田の上段逆突きが耳をかすめ出血してしまう。試合は一時中断、治療の後開催された。フットワー

動きを左の中段刻み回し蹴りで止め、上段に刻み突きを極めた佐々木が合わせて一本、勝利を収め前回の雪辱をはらした。

佐々木はその後順調に勝ちつづけ準決勝で中山広重（長野）と対決。

上段の刻み突きが冴え見事勝利、決勝に進出した。

午後に入っても好試合が続出した。

男子40歳組手の部では、昨年の優勝者石田賢司（東京）が激戦を勝ち抜き決勝進出、笹沼光夫（栃木）との対戦となった。笹沼は攻めの組手でここまで勝ち上がってきたが石田が左上段刻み突き、中段突きを受けて右の上段逆突きを極めて優勝、連覇を達成した。

男子45歳組手の部では、昨年優勝の深見彰（京都）が一回戦で敗退する大波乱があった。

激戦の中を勝ち抜いたのは畑嘉秀（福井）、百瀬敏昭（長野）だ。じっくりと間合いを詰める百瀬、軽快なフットワークから鋭い技を繰り出す畑。対照的な両者の対決は畑が左の上段の刻み突き、更に足払いを交わしての右上段逆突きで合わせて一本、初優勝した。



▲40歳女子形、組手完全優勝の小西形は珍手。



▲地元代表の男子45歳形の部優勝の芥沢（静岡）は組手においても三位入賞を果たす。

男子50歳組手の部は佐々木正喜（東京）が力強い技で勝ちあがってきた藤崎照男（埼玉）を左上段刻み突き、更に出合いの中段逆突きを極めて合わせて一本、昨年の準優勝に続き優勝した。

男子55歳組手の部の決勝は大谷章介（千葉）と根本功（千葉）の同県対決となった。試合は激しい攻防となるも決め手に欠け引き分け再試合、先取り勝負となった。この激戦を右上段逆突きを極めた大谷が前回の3位に続き優勝した。

男子60歳組手の部決勝は中山洋明（埼玉）と米良順一（栃木）の対決となった。勝かな試合展開の中、両者の上段逆突きが交錯、米良の逆突きが当たってしまう。米良の反則、中山が勝者となった。

男子65歳組手の部決勝は神野勝（福岡）、稲室吉之（千葉）の対戦は2...1で神野が勝利した。

男子70歳組手決勝は高浦英児（千葉）と桜場稔（福岡）の対戦となった。高浦は桜場の足払いに合わせての上段逆突きで技あり判定勝で勝利を収めた。

女子35歳組手決勝は大金幸江（東京）、新妻千江（宮城）の対戦。大金が上段の逆突きで先制、新妻に逆突きで技ありを返されるも中

# 形態安定空手衣 NST

軽くて縮まない空手着"NST"。一流選手をサポートするブランドです。



インターネットで  
気軽にEメール  
でご注文を!!

[www.toukaido.co.jp](http://www.toukaido.co.jp)

Eメールアドレス [tokaido@par.odn.ne.jp](mailto:tokaido@par.odn.ne.jp)

お申し込み・  
お問い合わせ

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-12-14 麹町KYビル6F

TEL / 03-3262-0281 (代表) FAX / 03-3234-9387

空手衣の 東海堂



▲男子65歳形、組手総合優勝の神野(福岡)。形は五十四歩小。

段逆突きで技あり、合わせて一本見事初優勝した。

女子40歳組手決勝は小西康子(福岡)と岡野真奈美(三多摩)の対戦、開始2秒で小西がいきなり上段突きで先制、岡野も上段突きで技ありを返すも小西が中段突きを極めあわせて一本、連覇を達成した。女子45歳組手は山根佳江(静岡)が、女子50歳組手では鈴木朝子が優勝した。

女子55歳組手は佐藤美恵子(岩手)、大津慶子(茨城)の決勝戦、基本一本組手の対決となり多彩な極め技を繰り出した佐藤が勝者となった。

形試合も円熟の好演武が続いた。男子40歳の部では竹内一成(三多摩)が力強い壮鎮(得点41・5)で他を抑え優勝。男子45歳の部では芹沢章夫(静岡)が切れ味抜群の十手(41・2)で前回の3位に続き優勝。男子50歳の部では櫻井泰夫(静岡)が重厚な十手(41・5)で前回に続き優勝。男子55歳の部では団体戦でも大活躍の折目哲哉(三多摩)が五十四歩小(42・0)で根本功、大谷章介を抑え、前回に続

き連覇達成。男子60歳の部では佐々木宣義(福岡)が二十四歩(41・9)で連覇。男子65歳の部では神野勝(福岡)が五十四歩小(41・6)で優勝(組手、形、総合優勝)。男子70歳の部では高浦英児(千葉)が観空大(42・0)で優勝(形、組手総合優勝)。女子35歳の部では西田美由紀(京都)が五十四歩小(41・5)で優勝(前回3位)。女子40歳の部では小西康子(福岡)が珍手(41・5)で優勝(前回準優勝、組手、形総合優勝)。女子45歳の部では若梅陽子(千葉)が壮鎮(40・7)で優勝。女子50歳の部では喜納理恵子(東京)が壮鎮(40・8)で優勝。女子55歳の部では佐藤美恵子(岩手)が観空大(40・6)で優勝した。

大会最後を飾る都道府県対抗戦では東京都と三多摩が激突。勝敗は最後までもつれ、代表戦に。東京都は瀬戸、三多摩は折目が代表に、両者気迫のこもった演武を展開、この勝負を折目が勝利し三多摩にうれしい初勝利をもたらした。又、三位決定戦では茨城県が静岡県を16・6で下し三位入賞した。

表彰式、パーティーは時之栖に場所を移し、選手、役員は地ビール、美味な料理を多めに堪能した。

大会は大きな怪我人も出ず、無事成功裏に終了した。大会の準備に当たられた静岡県県の役員、係員の皆様素晴らしい大会ありがとうございました。



▲男子70歳形、組手優勝の高浦(千葉)。対するは榎場(福岡)。

● 社団法人日本空手協会  
平成14年 稽古納め及び納会



去る12月21日(土)、社団法人日本空手協会にて平成14年稽古納めおよび納会が行われた。当日は全国各地から総勢100名以上参加があり、杉浦初久二首席師範の指導の下、総本部4階道場は、参加者の熱気で、大いに盛り上がった。

● 社団法人日本空手協会  
平成15年 鏡開き



去る平成15年1月12日(日)、社団法人日本空手協会総本部道場にて、平成15年鏡開きが行われた。杉浦初久二首席師範による稽古始めの後、新垣美紗子研修生による雲手、高橋敏指導員による拔塞大、尾方弘二指導員、飯塚能敏研修生による基本一本組手、小倉靖典指導員、大隈広一郎指導員による捕りの演武が行われた。

その後祝宴が行われ、中原伸之会長、杉浦初久二首席師範の挨拶の後、鏡割りが行われた。中原会長の挨拶にもあったように今年度は第9回社団法人日本空手協会松涛杯世界大会が9月20日(土)、21日(日)、日本武道館にて開催される。全種目完全制覇を目指し、今年も日本空手協会は始動した。

伝統空手道雑誌創刊

空手道マガジン  
**JK Fan**  
毎号23日全国一斉発売

JKF ぽっく  
**JKF ニュース満載!!**  
昇段審査・各地区大会・全国大会・松涛杯などの話題を常時掲載

お近くの書店にてお求め下さい。  
定価1,000円(本体952円)

KARATE VIDEO ON SELL

船越善珍密正統正伝  
■解説/ (社)日本空手協会 主席師範 中山正徳

**松涛館十五の形**  
各8,000円(収録時間各30分) Vol.9/最終(未定)

- Vol.1 CMP-951 平安(初~上段)
- Vol.2 CMP-952 平安(中~上段)演習
- Vol.3 CMP-953 鉄騎(上~上段)
- Vol.4 CMP-954 後進
- Vol.5 CMP-955 観空
- Vol.6 CMP-956 十手
- Vol.7 CMP-957 半月
- Vol.8 CMP-958 高飛
- Vol.10 CMP-970 落忍

**松涛館選定形**  
各8,000円(収録時間各25分)

- Vol.1 CMP-971 壮鎮
- Vol.2 CMP-972 雲手

この商品をご希望の方はこちらまで  
株式会社チャンプ  
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-3 昭和第二ビル2階  
TEL. 03-3315-3190 FAX. 03-3312-8207

# ◆連載◆空手四方山話

越智先生

本日は「空手四方山話」にお集まり下さいまして誠に有難う御座います。

皆様のお氣にいらぬ様なお話しが出来るかどうか、心もと無いのですが、空手と言うものを少しでも正しく理解して頂ければとの思いで本日は参りました。

ヤストラム、京子さんからお話があった時に、簡単にお受けした後、後悔の連続で、4、5日前から心配で夜も安らかに眠れない日が続きました。

なにしろ初めての事で、色々とお聞き苦しい事が有ると思いますが、お許し頂きたいと思っております。

本日は、空手とはどのようなもので有るかについて、お話を致したいと思っております。

丁度、私くらいな年代ならば、昭和30代に青少年時代を送られた方々だと思いますが、その頃は、TVの普及時代でほとんど毎週、プロレスラーの力道山をテレビで見て育った時代だと思います。

プロレスの中で力道山が見せていた、空手チョップの手刀打をしたり、空手の演武などで瓦や、板を割ったりする試し割りを、空手ですか、と聞く方が多くおられます。

たしかに、それも空手の一部分では有りますが、それがすべてでは有りません。

では空手とは、どのようなものかと、考えてみたいと思っております。

空手とは、簡単に言えばひとつの格闘技だと言う事ができると思っています。ごく、身近なところで格闘技を見えますと、子供の喧嘩があります。

身体の大きな力の有る子は、相手をつかんで取っ組み合い、相手を投げ倒そうとしますし、身体の小さい子は相手を離れて蹴ったり叩いたりします。

又、近くに棒切れ等が有ればこれを利用して叩こうとします。

以上のように人間の本能として、他の者と戦う為には如何にすれば、自身が有利に戦う事ができるかを本能的にわきまえて居ります。

日本の格闘技武道に例えれば、

(1) 得物を持って行なうものとして、

剣道、長刀、槍、弓等有り、

(2) 相手をつかんで行なうものには、相撲、柔道、合気道等

(3) 相手と離れて打つ、蹴るなどのものとして、空手、少林寺拳法等が有ります。

例えば

(1) 得物を持って行なうものには、フエンス、(剣道)

(2) つかむものには、レスリング、(柔道)

(3) 相手と離れて打つものには、ボクシング(空手)等が有ります。

以上の例を見ますと、

一応、空手とは相手と離れて叩いたり、蹴ったりして相手に打撃を与える格闘技と言う事に規定できると思っております。

このように規定しますと、世のお母さん方から空手は喧嘩の道具で野蛮なものです、そのような野蛮な事はうちの子供には習わす事が出来ません、などと言われますと、私のように空手の普及に努めている者にとりましては、大変淋しく、困った事に成ります。

それでは、空手を習えば野蛮になるかどうかを、考えて見たいと思っております。

古来、日本では剣道のように相手を切り倒し、死にいたらしめる事を目的とした、格闘技が有ります。この殺人技をいかにすれば、この殺人技を持って世の為になる、活人剣に発展させる事が出来るかを考えてきました。

この考えが日本の武道の特徴で御座います。西洋のスポーツとの大きな違いで有るように思っています。

日本人はたぶん、仏教や儒教、神道の影響だと思っておりますが、西洋人とは違った、大変不思議な考え方を有る習性を持って居るようで御座います。

何の習い事においても、西洋人のように楽しむだけとか、技術が上達すればそれで良いと言っただけで無く、習い事をする事によっていかに

すれば人格完成ができ、人間的に立派に成長する事が出来るかを追求します。

これは武道だけでなくあらゆる芸道においても言えると思っております。

例えば、お茶、お花、お香などでも茶道、華道、香道となり、技術だけでなく、道を追求する事になります。

生け花などでも、心を学びなさい、心が充実しなければ、美しく生ける事が、出来ないと思われて居るようです。

空手も他の武道や芸道と同じく、空手を学ぶ為には、先ず心を学びなさいと、教えられて居ります。

我々の空手の流派は松濤館流と申しますが、流祖は船越義珍師範であります。

先生は沖繩出身で大正時代に文部省主催の体育博覧会がお茶の水で開催された時、沖繩代表として53歳の時、出席されました。その後、空手の指導、普及の為、望まれましたままに東京に残り、空手の普及発展に努められた方で御座います。

船越先生は上京されてからは、時間の許すかぎりひんぼんに、鎌倉の円覚寺で参禅して居られたようで御座います。

その頃、円覚寺の禪師で御座いました、古川導師に相談されました。沖繩時代には、唐から渡来した技、唐の手、即ち唐手と書いていたのですが、唐の字を、般若真經の中の「色即是空、空即是色」より宇宙の真理は空で有るとの教えより、空手を学ぶ者は空手を通じて、宇宙の真理を学ぶべきで有るとの考えに至り、空の字に改正されました。

この一事を見ましても、真の空手を学ぶ者は何を目指すべきか、お分り頂ける事と思っております。

「宇宙の色相は観じれば一切空に帰する。しかし空は即ちこれ一切の色相に他ならぬ」

又、船越先生は真の空手道は、内には天地に恥じない心を養い、外には如何なる者にも負けない、技を持たなければならぬ。

心と技と内外兼備備えて、始めて完全なる「空手道」と言えるのであると。

又、空手道を修める者は、第一に礼儀を重んじなければならぬ。

礼儀を失った空手は、既に空手の精神を失っている。

礼儀は稽古の時ばかりではなく、如何なる場合にも重んじなければならぬ。おうおうにして、腕に覚えが有ると、とかく、威張って見た

くなるのは、小人の常で有るが、世に「空手家ぶる空手家」ほど見苦しい事はない。世間では「空手家は乱暴者」と思われ勝なので、特に注意しなければならぬと、戒めております。

私達も空手を習う時には、如何なる時にも礼儀を重んじるとか、血気の勇を戒める事とか、苦しい稽古に打ち勝った後に真の空手を身につける事が出来ると、教えられて来ました。

決して、私自身が真の空手を、身につけたとは言いませんが、そう有りたいと思つて、修行してきた事には、間違いないと思っております。

これから、皆様方に私が歩んで来た、空手人生45年と、その背景をお聞き頂きますと、空手とは、どのような物かと御推察頂ければと思っております。

私は、昭和15年四国の愛媛県西条市で生を受けました。

御存じのように四国は、真言宗を開いた空海、弘法大師が巡礼寺、八十八ヶ寺を開いた所で御座います。

私がまだ子供の頃の春には、諸国から色々な人達が、御廻路さんの姿をして巡礼をし、途中、托鉢の為、名家の門に立ち、鐘を鳴らしながら御詠歌を揚げますと、母が貧しい中から、ほんの少しのお布施ですが、お米か、お金を私に渡し、お廻路さんに渡すようにと言われた事を覚えて居ります。

西条は気候も良く、農作物や海の幸に恵まれていた事などで、大変おだやかな性格の人達が生まれる環境でした。お廻路さんとの関係を見ましてもお分り頂けると思っております。

しかし、その反面、西条は、四国の山岳仏教の霊峰でも有ります、600年代に修験道の為、役ノ行者(役ノ小角、オズヌ)が開きました。石鐘山の麓に開けた城下町でありました。

その関係で、夏のお山開きには、白い着物の山伏が、法螺貝を吹き鳴らしながら山に入り、荒々しい修行を行なう事を、小さい時から見聞きして居りましたので、子供心にも何かを求めると言う事は大変な事だと、考えさせられるような町でした。

私の小、中学時代は、昭和20年代で、敗戦後の貧しい時代でした。当時の田舎の子供達は、皆な同じで御座います、学校から家に帰りますと稼業の手伝いをしておりました。

私の実家は半農半漁で御座います、私も、他の子供達と同じく学校から帰りますと、早春

には田圃に麦踏みに行き、10×15cmくらいです  
から、麦はべつちやんこになります。

その時に、父になぜ麦を踏むの、麦が可哀想  
じゃないと聞きますと、麦は踏まれた後はよく  
根が張り、茎も丈夫に育ち、成長した時に強風  
などが吹いても倒れなく成るんだよと言われ、  
その時、お前も麦みたいの人に踏まれても、  
負けないで立ち上がらなければ、駄目だぞと野  
外教育を受けたら、夏には水田で稲田の、除草  
機を使つての草取り、これはぬかるみの中の  
仕事ですので、大変足腰に負担の掛かる作業で  
御座います。

又、冬には海に行き、養殖海苔の採集の手伝  
い等をし、収穫した生海苔を籠に入れて、天秤  
にかつぎ、岸迄、干潟を3〜4kmかついで行く  
事などの、作業を手伝う事によって、現在振り  
返つてみますと、知らない内に、私の足腰が同  
時代の都会の子供達よりも、鍛えられたような  
気がします。

この西条時代の生活環境が、私の空手を習い  
続けていく上に、良い影響を与えてくれました。  
これは余談に成りますが、昔、プロ野球の選  
手で西鉄ライオンズの稲尾投手、この人は神様、  
仏様、稲尾様と言われたような人で、ものすごい  
ピッチャーでしたが、日本選手権で西鉄対巨人と  
の対戦で、3連敗した後、4連投して4勝を揚げ  
西鉄をチャンピオンにした人ですが、試合の後の  
インタビューで、なぜそんなに身体のバランスが  
良くて、足腰が粘り強く柔軟なのですか？と聞  
いた時、彼は、私の父は漁師で、子供の時から漁  
の手伝いで、小舟の櫓を漕いでいましたので、小  
舟が波にゆられる時など、自然と身体のバランス  
を取り、バランスを感覚を養い、櫓を漕ぐ事によ  
つて、足腰が柔軟で強く成つたと、言っていたの  
を今でも覚えて居ります。

戦後は現在のように、身体鍛錬の為のウエー  
トトレーニングの器具等有りませんでしたので  
生活環境の中で自然と鍛錬が出来たようです。  
現在のようには、簡単に希望する器具や機会に恵  
まれる事は、良い事だとは思いますが、人間成  
長の為には本当に幸福な事なのか、どうかを考  
えさせられる時が有ります。

さて、私の運動歴と申しますと、小学生で野  
球、中学生でバレーボール、中学3年で、友達  
が空手を本で自習し、週に一度空手のまねごと  
を、友達から習い始めました。

西条高校に入学した時、バレーボールを行な

うには、身体が小さすぎて、将来性が無いと、  
自分で見切りをつけ、他人よりも強く成りたい  
との単純な動機で、柔道部に入学し、柔道を始  
めました。

しかし、柔道には歴史が有り、一年生で黒帯  
などがいて、初心者には歯が立ちません。夏ま  
では続けたのですが、西条高校では、空手同好  
会が認められており、学内でも稽古が出来る事  
を知り、空手ならば、同級生などに黒帯なども  
いず、対等に競う事が出来ると思ひ空手部に移  
りました。

2年生迄は、おとなしく空手の稽古ばかりし  
ていたのですが、3年生に成つた時に、友人が  
ラグビー部の主将になり、選手が足りないので  
ラグビーを手伝うように頼まれ、空手と同時に  
ラグビーを行なうように成りました。ラグビー  
は体力的には持久力をつける為に、良かったの  
ですが、空手の稽古に集中する事が出来ず、学  
年末の空手の進級審査では同級生8人中、4名  
が1級、2名が2級、後の2名が3級に合格致  
し、私は、この最後の2名となり、3級に合格  
しました。

3学年の卒業審査で、同級生では最下級の、  
3級になったものですから、大変ショックでは  
有りましたが、その時、なぜ自分は3級に成つ  
たのかと、自らを反省して見ますと、私は同級  
生が空手の稽古に集中している時に、ラグビー  
と空手の二股をかけて、努力が足りなかったの  
だと結論づけまして、この結果を、虚心に受け  
入れる事が出来ました。

西条高校空手部で学んだ事は、努力をしなけ  
れば、その結果は自分自身にふりかかり、努力  
の大事さを身を持って体験した事です。

この事が、拓大空手部に入学した時に、他の  
同級生の稽古に対し、努力は、最低2倍はしよ  
うとの、決心に繋がりました。

拓大大学入学にかんしては、高校の3年生の  
時に、たまに、東映の映画で、波島進主演の  
飛燕空手打ちま、見る機会が有り、その内容は  
戦前の拓大空手を扱ったもので、恋あり涙有  
り、最後には満蒙に雄飛すると言った、硬派の  
青春映画でしたが、これに感動して拓大を受験  
する事に成りました。

その頃、西条から東京迄は汽車で高松に行き、  
宇高連絡船にて宇野に渡り又、汽車に乗り換え  
て、東京まで18時間掛かりました。

そのような田舎者が一人で東京に出、拓大空

手部の合宿所に入所するのですから大変です。  
まず驚いた事は、同期で入学した人が100名  
いた事です。その中で、寮に入寮を希望した人  
は約30名、その内、本校の合宿所に入所した人  
が10名でした。私達は先輩に案内されて寮に行  
き、部屋割りを行いました。

合宿所は、昔の田舎の木造2階建ての、小学  
校の校舎のような建物で、1□2階とも、廊下  
を挟んで、両側に6畳部屋が8部屋有りました。  
空手部の部屋が2階の4部屋です。そこに30  
人が住みます。主将の部屋は4名、後の26名が  
3部屋に割り振られました。

1部屋に約8人です。そこに4年生、3年生、  
2年生と1年生が共同生活です。私は、始め6  
畳の部屋にどのようにして、寝るのか分りま  
せんでした。禪宗の修行僧は、座つて半畳、寝  
て1畳と言いますが、修行僧と同じく、1畳に  
布団1枚ずつついても6枚、後の2枚をどうす  
るかと思つたら、部屋の押入が1間の長さで、  
2段になっておりまして、そこに1枚ずつしく  
と、全部で8枚の布団をしく事が出来ました。

6畳に8人寝る事ができたので、これには大  
変驚きました。

この体育寮には、空手部、柔道部、剣道部、  
相撲部、レスリング部の5部が入寮しており、  
舎監として体育実技の剣道教授で有りました、  
小山先生がおられました。この先生に関しては、  
後で詳しくお話を致したいと思つて居ります。  
当時はまだ戦後間もない頃で、先にもお話し  
たように、1年、2年、3年、4年生が同室で、  
共同生活を行なつて居りました。

先輩と後輩の関係は大変親密では有りました  
が、しかし特に空手部では厳然たるヒエラルキ  
ーが存在して居りました。

最初に、2年生の先輩から言われた事は、今  
でも忘れる事ができません。1年生は、自分を  
奴隷だと思つてくだらないと、空手部では辛抱  
できないと威され、先輩の言い付けには、絶対  
服従と言われた後、激励として拓大生は押忍の  
精神で頑張る様に言われました。

押忍の精神なんて言われても、何の事か分か  
りませんし、奴隷とか、絶対服従が強烈で、私  
のように昭和21年に小学校に入学し、民主教育  
の自由と平等を小学生の時から、徹底的に刷り  
込まれた者には、本当に驚きました。

しかし、のちに、この奴隷とか、絶対服従、  
押忍精神の事を振り返つて見ますと、押忍とは

「押し忍ぶ」と書き、「お早う御座います」の  
最初のおと最後のすを取つて、合成した言葉、  
合成語の（おす）では有りませんし、又、牡、  
牝の（牡）でも有りません。

これは、何事も押し忍び、堪え難きを耐え、  
忍び難きを忍び、物事をやりとおすとの意味で  
有ります。この言葉の典故は次の佛教用語だと  
思います。仏教の六波羅蜜の第三にも忍辱（に  
んにく）という教えがあり、忍辱とは恥を忍ぶ  
という事だそうですが「堅忍不拔の意」忍辱に  
は二通りあり、

(1)他きよう益忍（タキョウヤクニン）

(2)安受忍と云うようですが、  
他きよう益忍とは、他の利益にならない事は、  
忍んでこれを行なわない、安受忍とは、人の侮  
辱を安んじて受けて、少しも、瞋恚（シンイ）  
（シンニ）（仏語）の心を起こさぬ事だそうす  
が、他人が良く成る事を妬んだり、怨みに報い  
るに、怨みをもっておこなえば、永久に争い事  
が尽きないのも他人から理不尽な誹謗を受  
けても、安んじてこれを忍べよ、との教えであ  
ります。

又、絶対服従も、武道を修行する一方法とし  
て守、破、離と云う教えが有ります。

(1)守、とは

修行が有る程度に達するまでは、その流派を固  
く守つて他流を学んではいけないと言ふことで、  
たとえば、その流派の特徴とする技や理法を徹底  
して学び、他流の事には一切、目を向けないで、  
何事も教えられた事を実行する段階です。

(2)破、とは

それまで学んだ流派の教えを十分に体得して、  
進んで研究心が非常に強くなり、他流とも交わ  
り比較検討し、今まで盲目的に習つた技が良い  
か、良くないかを考え、自主的に考えて研究し  
ていく段階です。

(3)離、とは

諸流に達したあとは、諸流を離れて心身とも  
に自由自在となり、武芸によってその境地を極  
め、自らの創意と工夫によって新しい諸流の発  
生もできる状態です。

以上の武道修行の「守」の第1段階が、1年  
生の何事も言いつけを守り奴隷のように、絶対  
服従の段階かなと考えると、人間が成長してい  
く過程では、そのような時期も必要かなと思  
う時も有ります。

◆次号につづく◆

平成14年度 秋季総本部主催  
国内外全国合同合宿開催



毎年春、秋の年二回、日本空手協会総本部道場にて全国の都道府県会員間の技術統一、世界的レベルの技術統一を目的とし開催される国内外全国合同合宿今回はドイツ国より越智秀男師範を招き平成14年10月3日(木)より6日(日)の四日間、総本部道場にて開催された。

第一回講習会は杉浦初久二首席師範による基本及び組手の稽古、第2回から第4回講習会は段別に三班に分かれ燕飛、半月、岩鶴、鉄騎二、三段、十手を総本部指導員のもと熱心に稽古、研究がなされた。第5回講習会は自由組手を中心に行い、第6回講習会は大石師範による稽古中、試合中に起こりうる怪我や急病に対する応急手当、第7回最終講習会は越智秀男ドイツ国師範による基本技を組み立てて相対的に行う約束組手の稽古方法が指導された。又、これら講習会のほかにも中原会長の講話、資格受験者の講習会、各種資格審査、昇段審査(四段以上)が行われた。

詳細  
合宿参加者・・・152名  
海外参加者・・・17名  
10年連続参加表彰者

- 岩淵 弘(大阪)
- 関井 通弘(茨城)
- GNEO
- SERGIO
- (ヘルギー)
- 笹本 十郎(東京)
- 野崎 努(富山)



各種資格審査合格者

- 正木 博(審判員A級)、薮野 英児(指導員B級)、秋山 謙蔵(指導員C級、審判員C級)、小林 明(審判員D級)、鈴木 軍次(指導員C級)、寺谷 茂樹(審判員B級)、櫻場 稔(審判員A級)、大須賀 一二三(審査員D級、審判員D級)、佐伯 實(指導員A級、審査員B級)、佐々木 真人(指導員A級)、佐々木 宣義(審判員A級)、福島 謙(指導員A級、審査員B級)、DANIEL LAUTIER(指導員C級、審査員C級)、佐藤 由香里(審判員D級)、南部 直広(審査員D級、審判員D級)、青木 修(指導員B級、審査員B級)、只木 暁(審査員D級、審判員D級)、加福 明治(審査員C級)、相原 智之(指導員B級、審判員C級)、宮本 利行(指導員C級、審判員C級)、谷川 幸男(指導員A級、審査員B級)、井上 英雄(指導員C級、審判員C級)

以上

社団法人日本空手協会  
平成15年 寒稽古



去る1月27日(月)・2月2日(日)、社団法人日本空手協会にて寒稽古が行われた。大寒の寒い中、会員が集まり汗を流した。寒稽古は、朝7時より8時まで、総本部から東京ドーム、後楽園を回り戻ってくるコースをランニングし、締めくくりに総本部で稽古する

という内容だ。最終日には、靖国神社までランニングし、多数の会員の参加があった。最終日当日は、靖国神社までランニングし、参拝した。稽古終了後、43年連続精勤の関根光雄さんをはじめ、今年の特賞が表彰された。

- 【表彰者】
- 精勤43年 関根光雄
  - 精勤32年 吉岡英隆
  - 精勤24年 榎本末子
  - 精勤10年 原 義明
  - 精勤5年 猪俣和男
  - 精勤2年 斉藤 實、篠原 隆子
  - 精勤1年 藤條 純樹、行木 慎一、武智 公英、尾山 典子



三重県本部創立45周年を迎え



社団法人日本空手協会三重県本部創立45周年記念祝賀会

去る、平成14年10月5日(土)18時30分より、鈴鹿山系の主峰・御在所岳の裾野の絵野高原に建つ、鈴鹿国定公園湯の山絵野温泉「希望荘」において、(社)日本空手協会三重県本部創立45周年記念式典及び祝賀会を開催しました。今回の式典は、現在の社会情勢並びに今年2月1日に三重県本部役員阿部徳吉副会長が急逝されたこともあり、三重県本部役員、支部長、各支部・道場の指導員のみ約60名の参加ではありましたが、兵庫会長を囲み先生のいろいろなお話を聞かせて頂き和気霽霽とした楽しい祝宴でありました。

当三重県本部45年の歩みは、日本大学大学院を卒業され当大学の空手道部監督であられた兵庫実師範(現国際理事)が、昭和32年7月1日に桑名市西川原の「飯一館(きいちかん)」道場で講道館の故三船十段及び故斉藤昇先生(元警察庁長官・元運輸大臣)・三重県知事をお迎えして産声を上げたのが始まりであります。以降総本部の各先生方のご協力ご指導に加え、兵庫師範のご苦勞の甲斐有り地域社会の空手道への理解度も高まり大人ばかりの道場から子供も大人も一緒になって汗を流せる道場へと変わり会員数も年々増え、平成12年度・13年度と2年連続で優良都道府県として、全国大会において表彰していただきました。今後、更に三重県本部一同は、兵庫師範を中心として武道精神に則った正しい空手道を精進し、青少年の心身の健全な育成・地域社会への貢献と斬道発展のために邁進する所存であります。

国土交通大臣登録旅行業第361号 / 日本旅行業協会正会員

株式会社 旅行開発センター

代表取締役 小林 昇 (師範会会員)

〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7 友泉銀座ビル11階

TEL. 03-5159-1080 FAX. 03-5159-1090

担当: 三浦・安部



## 燃える心 新年の飛躍を誓う 年末合宿



横須賀支部・久修館

横須賀支部は荒ぶる魂の街・ヨコスカで、勇名をとどろかせる山崎三兄弟が、鬼の殿しさの根底に情ときめ細やかな心遣いのある指導で幾多の俊英を輩出している。特に、副将・山崎力支部長（県強化部長）は、自衛隊体育学校時代、庄司寛師範等に「勝つための空手」を叩き込まれ、全日本実業団団体優勝、昨年の45回全国大会では監督として神奈川（神選組）を見事初優勝に導いた、作戦・理論・指導面

にも優れた知将でもある。

そして、17年前より年末に、駿河湾の彼方に富士山を望む西伊豆の戸田温泉で合宿を行っている。昨年も暮の27、29日、近い将来県本部の一層の活性化を図り、この合宿を県の行事に発展させる事も視野に入れ、他支部の支部長を含む有志や神選組の面々、全空連ナショナルチームの杉山選手等、約40人で挙行した。

鉄筋三階建の清潔な民宿「浜又」とB&G海洋センター道場を舞台にして、綿密に練り上げられた「作戦行動」を感じさせる充実したプログラム・役割分担・注意事項の下での合宿であった。ビデオ研究会、ミニ大会、空手技で弾いた場合「セーフ」のドッチボール大会や、少年部が支部長と風呂に入り小さな手で三助をやる「コマ」もある。支部長には、少年の体の成長と傷を確かめる意図がある。又、大きな声で気合の入る雰囲気を作る「押



忍当番”がある他、「下足番”には小学校低学年の者も任命され、健気に整理整頓の任務を果たしていた。勿論、挨拶・言葉遣いにも統制と規律が守られていた。最後には、ミニ大会入賞者だけでなく、それぞれの持ち場で頑張った者たちに賞が贈られた。全体に「勢い」があり、強さの秘密が分る気がする合宿であった。次回には他支部からもより多くの参加者がある事を望むものである。

## 公和館創立三十周年 祝賀会



平成十四年十二月一日（日曜日）、松本市内の東急インホテルにおいて、公和館（古畑公幸館長）創立三十周年記念祝賀会が開かれました。県内外から空手関係者ら、約百六十人が出席し、節目を祝いました。式典では、総本部の井村武憲師範と泉屋誠三師範の力強い模範演武に、会場も大いに盛り上がりました。又、式典の前には、公和館道場において、三十周年記念合同稽古が行なわれ、両師範に、丁寧な御指導を頂きました。三十周年に相応しい有意義な稽古になりました。祝賀会は、中山廣重県本部長の音頭で、万歳三唱し、盛会の内にお開きとなりました。

空手道に関する商品を

全国ネットでスピード配送致します。

空手衣の  
**YAMAGA**

株式会社 山雅

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町17-14 福川ビル  
TEL. 06-6768-2340(代) FAX. 06-6768-2351



Table listing participants and results for the 13th Sapporo City General Sports Center Judo Competition and the regular league match at Komazawa University Gymnasium.

Table listing participants and results for the regular league match at Komazawa University Gymnasium (continued).

大会熱戦録 (開催順)

■平成14年11月4日 上市総合体育館(富山県) 第14回 北信越地区空手道選手権大会

Table listing participants and results for the 14th Hokuriku Region Judo Championship at Utsunoyama General Sports Center.

■平成14年11月11日 第38回 東京都空手道選手権大会

Table listing participants and results for the 38th Tokyo Judo Championship.

3位 目黒D 団体一般上級 形の部 優勝 目黒C 準優勝 目黒A ●小学生1・2年男女中級 組手の部 優勝 全森夏美(世田谷) 準優勝 佐藤裕貴(世田谷) 3位 東藤之介(四谷) 3位 神津咲佳(小石川) 3位 小泉效(四谷) 3位 古川謙(自由が丘) 3位 古川謙子(王子三川) ●小学生1・2年男女上級 組手の部 優勝 梅沢大地(世田谷) 準優勝 高月理紗子(世田谷) 3位 中村西(城南) 3位 首藤珠博(四谷) 3位 石田真美(若原) ●小学生3・4年男女中級 組手の部 優勝 前川波(四谷) 準優勝 小泉裕(四谷) 3位 阪田洋(四谷) 3位 本間友里香(四谷) 3位 基本博文(白根) 3位 浅野茂教(世田谷) 3位 梶田雄太郎(四谷) 3位 岡田武也(城南) ●小学生3・4年男女上級 組手の部 優勝 中嶋吉(小石川) 準優勝 神津佑冠(小石川) 3位 加口寛空(渋谷) 3位 西角拓也(小石川) 3位 西角拓也(小石川) 3位 鈴木沙苑(国立) 3位 長倉未佳(東田) 3位 石部晃誠(東田) ●小学生5・6年男女中級 組手の部 優勝 大久保亮介(国立) 準優勝 近藤悠樹(王子三川) 3位 近藤真夫(四谷) 3位 木村俊介(四谷) 3位 鶴岡慎吾(目黒) 3位 岸本拓也(目黒) 3位 安藤俊紀(若原) 3位 宇田川幸哉(世田谷) ●小学生5・6年男女上級 組手の部 優勝 岩本建貴(世田谷) 準優勝 高月翔平(世田谷) 3位 井上雅貴(赤羽) 3位 全藤亮一(世田谷) 3位 井上雅貴(赤羽) 3位 佐々木俊志(赤羽) 3位 加藤佑太(世田谷) 3位 三原志人(東田) 3位 佐々木俊志(赤羽) 3位 金藤亮一(世田谷) 3位 井上雅貴(赤羽) 3位 高月翔平(世田谷) 3位 岩本建貴(世田谷)	3位 奥原武尊(城南) 3位 木下海樹(城南) 3位 吉田知之(小石川) 3位 横口拓馬(国立) 3位 小高大輔(城南) 3位 藤部佑輔(城南) ●中学生女子上級 組手の部 優勝 中裕香(小石川) 準優勝 長島加奈(世田谷) 3位 佐々木彩(赤羽) 3位 小橋穂紀香(赤羽) ●高校一般男子中級 組手の部 優勝 高橋知之(目黒) 準優勝 伊藤英典(新小) 3位 高西正人(自由が丘) 3位 藤井林太(目黒) ●高校一般女子中級 組手の部 優勝 細野あや(目黒) 準優勝 杉井あり(自由が丘) 3位 古川久美(自由が丘) 3位 芳賀友子(王子三川) ●高校・支部一般男子上級 組手の部 優勝 横井亮(総本部) 準優勝 伊藤英典(小石川) 3位 伊藤英典(小石川) 3位 奥原武尊(城南) ●高校一般女子上級 組手の部 優勝 青野好美(自由が丘) 準優勝 南雲千紗(世田谷) 3位 入江史香(自由が丘) 3位 加藤司穂(東田) ●一般男子フリースタイル 組手の部 優勝 Rowan Ward(豊島) 準優勝 植村征樹(三田田) 3位 植木史朗(白田) 3位 植木史朗(白田) ●シニア男子 組手の部 優勝 新井剛康(城南) 準優勝 布施木智之(自由が丘) 3位 佐村啓司(四谷) 3位 佐々木英人(自由が丘) ●シニア女子 組手の部 優勝 木戸康子(目黒) 準優勝 田中真由美(東田) 3位 橋本久美子(東田) ●団体高校一般中級 組手の部 優勝 目黒A 準優勝 自由が丘B 3位 自由が丘B ●団体一般男子上級 組手の部 優勝 小石川支部 準優勝 豊島支部 3位 豊島支部
--	---

第6回 日本空手協会栃木県学生選手権大会

●平成14年12月15日 開業能力開発大学校体育館 ●一般男子 組手 優勝 武正 智宏(国際医療福祉) 準優勝 高橋 誠(足工大) 3位 滝沢 裕哉(足工大) ●一般男子 形 優勝 武正 智宏(国際医療福祉) 準優勝 佐藤 洋(自治医大) 3位 高橋 誠(足工大) ●一般女子 組手 優勝 西山 幸子(自治医大) 準優勝 伊藤 玲子(自治医大) 3位 小竹 千穂(国際医療福祉) ●一般女子 形 優勝 西山 幸子(自治医大) 準優勝 伊藤 玲子(自治医大) 3位 小竹 千穂(国際医療福祉)	●平成14年12月15日 開業能力開発大学校体育館 ●一般男子 組手 優勝 武正 智宏(国際医療福祉) 準優勝 高橋 誠(足工大) 3位 滝沢 裕哉(足工大) ●一般男子 形 優勝 武正 智宏(国際医療福祉) 準優勝 佐藤 洋(自治医大) 3位 高橋 誠(足工大) ●一般女子 組手 優勝 西山 幸子(自治医大) 準優勝 伊藤 玲子(自治医大) 3位 小竹 千穂(国際医療福祉) ●一般女子 形 優勝 西山 幸子(自治医大) 準優勝 伊藤 玲子(自治医大) 3位 小竹 千穂(国際医療福祉)
--	--

昇段審査合格者 \*3段以上

<b>7段</b> 正木 博(千葉)	<b>6段</b> KEI FUKUDA (USA) 住川 聡(山口)	谷口孝雄(石川) 谷口良弘(石川)	岡原盛光(石川) 山本義行(石川)	持山 清(千葉) 阿津和夫(千葉)	高橋 力(千葉)
<b>5段</b> 補陀徒道 上川合洋 BOONS WILLIAM (ベルギー) HANSEN KENNETHD (デンマーク) MARIC ZVONKO (デンマーク) PEDERSEN PETER SOMMER (デンマーク)	POULSEN SOREN KNOP (デンマーク) STENBERGHER WLOFGANG (デンマーク) ANWAR BECK (インドネシア) SCHLEIS EKKEHARD (ドイツ) MINI TOMMASO (スイス) EMIL PAVAIHU (カナダ)	CLAUDE DESCHENES (カナダ) MERRILL COX (カナダ) PAUL GOSTON GAREAU (カナダ) JENNIFER A. ERNST (アメリカ) YASUAKI NAGATOMO (USA) JAMES BUTWIN (USA)	FATHI JARUSHI (USA) KRISTINA HAIGHT (USA) MARK DESCHATELETS (カナダ) 島田雅文(長野) 中国福佳(長野) 平塚 実(長野)	染谷亮洋(茨城) 矢萩哲也(千葉) 加藤 健(千葉) 本吉哲夫(千葉) 吾妻忠司(千葉) 勝井洋一(千葉)	楠 久雄(千葉)
<b>4段</b> 市川明雄 大島直之 中西昭仁(兵庫) LOKUKALUGE SUNIL SHANTHA (大蔵) 加藤一紀(岐阜)	渋谷 勉(宮城) 黒沢信善(宮城) 早坂 繁(宮城) 野口 久(茨城) 中山典夫(茨城)	望月 守(茨城) 飯島北也(茨城) 寺内康夫(京都) 小林雅樹(北海道) 早川敏行(北海道)	道佐千恵子(北海道) 小野野志恵(福島) 野田留美子(福岡) 古武和博(福岡) 吾妻忠司(千葉)	勝井洋一(千葉) 武居可奈(長野) 楠 久雄(千葉) 張 黎民(総本部) 江原水真	
<b>3段</b> 市川明雄 曾我正毅(新潟) 小野 弘(新潟) BITTMANN HEIKO (石川) 林 吉継(石川) 古川貴志(青森) 米澤毅朗(岐阜) 中村善郎(岐阜)	藤井友二(岐阜) 南部直広(岐阜) 村山和明(北海道) 美田和夫(北海道) 伊藤 益(宮城) 高瀬佳世(宮城) 山崎敦夫(宮城) 穴戸敏郎(宮城)	小山 登(宮城) 加藤武彦(宮城) 尾形秀一(宮城) 新山 茂(宮城) 比嘉真三(茨城) 吉田幸男(熊本) 大野宏二(福島) 塚井康成(宮城)	蓮 芳則(福岡) 富永正宜(福岡) の場良介(鹿児島) 松谷泰光(福岡) 中山道春(福岡) 大原 祝(熊本) 呼は廣き(東京) 吉田利奈(青森)	河合伸明(静岡) 高橋大起(宮城) 徳永拓郎(大分) 寺島一美(長野) 高田ちなつ 新垣美紗子(総本部) 村津真理子(兵庫) 中島武文(長野)	藤原明彦(長野) 江原水真 半崎公代(東京) 渡辺博英(大分) 由田 力(埼玉) 佐竹敏彦(埼玉) 菊池義雄(埼玉)

<投稿歓迎> 全国の会員の皆様の投稿をお待ちしています。支部・道場の行事の模様などの「原稿・写真」をお気軽に寄ってください。投稿原稿は800字以内。ワープロ、パソコン(FD)、原稿用紙でお願いします。なお投稿いただいた原稿等は原則として返却いたしませんのでご注意ください。ホームページ、電子メールもご利用ください。詳細はお問い合わせください。

●宛先 〒112-0004 東京都文京区後楽2-23-15 日本空手協会総本部「JKAニュース」係 TEL.03-5800-3091(担当・中)

●ホームページ <http://www.jka.or.jp> ●電子メール [sohonbu@jka.or.jp](mailto:sohonbu@jka.or.jp)

<各地区編集委員>

北海道地区 東北地区 関東地区 北信越地区 東海地区 近畿地区 九州地区	網谷貞幸 佐藤範明 瀬戸謙介 大日方俊夫 池山正仁 小島弘己 船田敏昭	TEL/FAX 011-832-1182 TEL/FAX 022-285-3209 TEL 03-3714-6469 FAX 03-3714-4093 TEL 026-244-2659 026-234-5964 FAX 026-244-4170 TEL 052-351-7300 FAX 052-355-3557 TEL/FAX 0720-75-0295 TEL 092-661-0500 FAX 092-661-0504
--	---	---

<次号「2003年盛夏号」は6月発行の予定です>

# 協会の型を完全網羅!

## 空手道型教本 絶賛発売中

第1巻 平安初段・武段・参段・四段・五段、鉄騎初段	2000円(税込)
第2巻 抜塞(大)、観空(大)、慈恩、燕飛	3000円(税込)
第3巻 岩鶴、十手、半月、鉄騎武段・参段	3000円(税込)
第4巻 抜塞(小)、観空(小)、壮鎮、二十四歩、雲手	3000円(税込)
第5巻 王冠、五十四歩(大)、五十四歩(小)、明鏡、珍手	3000円(税込)

発行●日本空手協会・師範会 03(5800)3091

(社)日本空手協会指定 審判用スラックス

フータック ポリエステル100%  
ウエスト73~88cm ¥7100(税込)  
ウエスト91~110cm ¥7400(税込)

(サイズは3cm刻み、裾上げはご自身でお願ひします)

送料(1~9本) ¥800  
10本以上無料

問い合わせ先 (株)東海堂 03-3262-0281